

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人 富士市社会福祉協議会

1. 概要

平成28年度は、社会福祉法施行以来の改正が実施され、本会も経営組織のガバナンスの強化や事業運営の透明性の向上、財務規律の強化等に向けた検討を進め、理事・評議員等新たな組織運営体制の変更を含む定款の改正を進めてまいりました。これにより、新たな執行体制が確立されました。

また、「第4次地域福祉活動計画」の諸事業は第1年目として、これまでの見直しや、アンケート調査、実施に向けた検討などを概ね予定どおり進捗し、「だれもが安心してともに暮らせる^{まち}地域」の実現に向けて事業がスタートしました。

次に、市民後見人誕生に向けた成年後見支援事業については、28年度に受任した法人後見ケースを通じて研鑽を重ね、関係機関との協議を深めるなど市民後見人誕生の実現に向けた体制整備を進めました。

また、障害者就労支援施設「ひめな」「まつぼっくり」「ふじばら作業所」の3施設では、新たに利用者の送迎サービスを開始しました。一方、まつぼっくりの就労移行支援事業については、バイオディーゼル油の精製事業の廃止に伴い事業廃止といたしました。

なお、平成22年12月に障害者就労支援施設吉原つくしで起きた事故については、係争中でありましたが、平成28年6月17日に最高裁判所の判決が上告棄却と確定し、損害賠償金等の支払い手続きを行いました。

以下、事業計画に掲げた重点目標に沿って報告いたします。

(1) 地域福祉活動計画に沿った事業の見直し・強化

5ヶ年計画の初年度となった第4次地域福祉活動計画は、「ふれあい・いきいきサロンへの支援」ほか44の基本施策を掲げ、年度の進捗目標に合わせ事業を執行しております。

28年度は、従来 of 事業を検証、検討、見直すものが多く、概ね予定どおり進めることができました。初年度ではありますが、市の施策との関係等から計画の目標値の見直しを要するものもあり、今後は、PDCAサイクルを回しながら、的確な事業執行を行ってまいります。

(2) 生活困窮者自立支援事業の推進

「生活困窮者自立支援法」における相談窓口として、2年目を迎えた「くらし・しごと相談」窓口の相談件数は、28年度で、2,252件を数え、前年対比185%という大

きな伸びとなりました。

この理由は、相談窓口の周知が進んだ上に、市をはじめとした関係機関との連携の強化や本会相談体制の充実が挙げられます。本会の相談員3人を2か月ずつ、市福祉総務課の相談窓口に派遣研修を実施したことなども功を奏した理由に挙げられます。

また、市内事業所に対して、生活困窮者の就労に対する理解を求めるチラシ配布なども実施し、積極的な活動を展開いたしました。

(3) 富士川地域福祉センターの充実強化

富士川地域福祉センターは、介護サービス事業の拠点として位置づけ、事業展開を行ってまいりました。市から施設譲渡を受けたばかりとはいえ、施設老朽化による不具合も多く、補修整備を行いながら、生きがいデイサービスや介護サービスの充実に努めました。

また、28年10月に、隣接していた障害者就労支援施設ふじばら作業所を当センター2階に移転し、利用者のサービス向上を図りました。これにより、高齢者と障害者の交流も行われ、複合的な機能を持つ施設となりました。

(4) 行政との関係強化と基盤整備の推進

本会では、行政からの受託事業も多く担っていることから、28年度も市関係各課との連携を図るために懇談会や打ち合わせ会を定期的に行いました。

また、新たに28年度から市長・副市長との懇談会と、市議会正副議長・文教民生委員会正副委員長との懇談会を開催し、社協の現状と課題をご理解願いました。

本会の将来を見据えた基盤整備としては、29年度に市から新たに2件の事業を受託することや将来の介護サービス体制の強化を目指し、正規職員採用試験を実施し、有能な人材の確保に努めました。

以上、重点目標に沿ってまとめましたが、依然として経済状況の好転が肌で感じられない中、28年度も社協会費や寄附などで多くの皆様にご支援をいただきました。

一方、少子高齢社会にあって、少子化対策や低所得者の生活支援策、介護予防サービス等々、今後、社協に求められる役割はますます多様化してまいります。

さまざまな悩みや心配を抱えた市民の皆様に、「社協があってよかった」と言っていただけのように、また、「頼りになる社協」であるために、役職員一丸となって各種事業に取り組んでまいります。

2. 会議開催状況

1. 理事会

	場 所	会 議 事 項
第1回 28. 5. 10	フィレンセ東館 ボランティアルーム	議第1号 正副会長の選任について 報第1号 常務理事の指名について 報第2号 会長の職務代理の指名について
第2回 28. 5. 26	フィレンセ東館 ふくし体験室	議第2号 平成27年度事業報告について 議第3号 平成27年度決算について ○（監事監査報告について） 議第4号 平成28年度補正予算について（第1号） 議第5号 顧問の委嘱について 議第6号 評議員の委嘱について
第3回 28. 6. 30	フィレンセ東館 ボランティアルーム	報第3号 障害者就労支援施設吉原つくしの裁判について 議第7号 平成28年度補正予算について（第2号）
第4回 28. 8. 19	富士川地域 福祉センター 多目的室	議第8号 平成28年度富士市社会福祉協議会会長表彰及 び感謝状贈呈候補者について 議第9号 障害者就労継続支援（B型）事業所ふじばら作 業所の移転にかかる承認を求めることについて 議第10号 評議員の委嘱について ○障害者就労移行事業所まつぼっくりのバイオディーゼル 燃料（BDF）精製事業について ○改正「社会福祉法」に基づく社会福祉法人制度見直しに ついて ○平成28年度敬老会について ○社会福祉協議会会費収納状況について（中間報告） ○市民福祉まつりについて

	場 所	会 議 事 項
第5回 28. 11. 25	フィナンセ東館 ボランティアルーム	報第4号 平成28年度上半期事業会計監査実施報告 議第11号 まつぼっくりの障害者就労移行支援事業の廃止 にかかる承認を求めることについて 議第12号 平成28年度補正予算について(第3号) ○平成28年度歳末たすけあい運動について ○改正「社会福祉法」に基づく社会福祉法人制度見直し作 業について ○ふじばら作業所移転の報告について ○市民福祉まつり、社会福祉大会の報告について ○社会福祉協議会会費収納状況について ○赤い羽根共同募金収納状況について(中間報告)
第6回 28. 12. 16	フィナンセ東館 ボランティアルーム	議第13号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会定款変更 について 議第14号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会評議員選任 委員会運営細則の制定について 議第15号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会評議員の選 任に関する規程の一部を改正する規定の制定につ いて ○平成29年度採用職員の募集について
第7回 29. 1. 27	フィナンセ西館 会議室1	議第16号 副会長の選任について 議第17号 収益事業の廃止にかかる承認を求めること について 議第18号 評議員選任委員の選任について 議第19号 評議員選任候補者の推薦について 議第20号 評議員選任委員会の招集について ○市民活動団体“はじめの一步”助成金審査委員について ○成年後見等審査委員について ○生活支援体制整備事業について ○結婚相談・縁結び支援事業「ハッピーネスFuji」につ いて ○平成29年度採用職員の募集について(中間報告) ○赤い羽根共同募金収納状況について ○歳末たすけあい運動募金収納状況及び配分結果について ○富士市社会福祉協議会災害対策本部及び富士市災害ボラ ンティア支援本部開設訓練の実施について

	場 所	会 議 事 項
第 8 回 29. 3. 24	フィナンセ東館 ボランティアルーム	<p>報第 5 号 専決処分の承認を求めることについて（社会福祉法人富士市社会福祉協議会給与規程等の一部を改正する規程の制定）</p> <p>議第 21 号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会定款変更について</p> <p>議第 22 号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会職員就業規則の制定について</p> <p>議第 23 号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会給与規程等の一部を改正する規程の制定について</p> <p>議第 24 号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則の制定について</p> <p>議第 25 号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程の制定について</p> <p>議第 26 号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会障害サービス室組織規程の一部を改正する規程の制定について</p> <p>議第 27 号 平成 2 8 年度補正予算について（第 4 号）</p> <p>議第 28 号 平成 2 9 年度事業計画について</p> <p>議第 29 号 平成 2 9 年度予算について</p> <p>○障害サービス事業所整備計画について</p> <p>○評議員選任委員会の審議結果について</p> <p>○平成 2 9 年度採用職員の募集結果について</p>

2. 評議員会

	場 所	会 議 事 項
第 1 回 28. 4. 20	フィナンセ西館 会議室 1	議第 1 号 理事及び監事の選任について
第 2 回 28. 5. 30	フィナンセ東館 ふくし体験・ 学習室	<p>議第 2 号 平成 2 7 年度事業報告について</p> <p>議第 3 号 平成 2 7 年度決算について</p> <p>○（監事監査報告について）</p> <p>議第 4 号 平成 2 8 年度補正予算について（第 1 号）</p>

	場 所	会 議 事 項
第3回 28. 6. 30	フィナンセ東館 ふくし体験・ 学習室	報第1号 障害者就労支援施設吉原つくしの裁判について 議第5号 平成28年度補正予算について(第2号)
第4回 28. 12. 21	フィナンセ東館 ふくし体験・ 学習室	報第2号 平成28年度上半期事業会計監査実施報告 報第3号 改正「社会福祉法」に基づく社会福祉法人制度 見直し作業について 議第6号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会定款変更 について 議第7号 まつぼっくりの障害者就労移行支援事業の廃止 にかかる承認を求めることについて 議第8号 平成28年度補正予算について(第3号) 議第9号 理事の選任について ○社会福祉法人富士市社会福祉協議会評議員選任委員会運 営細則制定の報告について ○ふじばらの作業所移転の報告について ○市民福祉まつり、社会福祉大会の報告について ○社会福祉協議会会費収納状況について ○赤い羽根共同募金収納状況について(中間報告) ○平成28年度歳末たすけあい運動について ○平成29年度採用職員の募集について
第5回 29. 3. 29	フィナンセ東館 ふくし体験・ 学習室	議第10号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会定款変更 について 議第11号 平成28年度補正予算について(第4号) 議第12号 平成29年度事業計画について 議第13号 平成29年度予算について ○評議員選任委員の選任結果について ○評議員選任委員会の審議結果について ○平成29年度採用職員の募集結果について ○障害サービス事業所整備計画について

3. 評議員選任委員会

	場 所	会 議 事 項
29. 3. 3	フィナンセ東館 社協相談室	議第1号 評議員の選任について

4. 監 査

	場 所	会 議 事 項
28. 5. 13	フィナンセ東館 社協相談室	○平成27年度事業会計決算監査
28. 10. 31	フィナンセ東館 社協相談室	○平成28年度事業会計中間監査

5. 共同募金委員会

	場 所	会 議 事 項
28. 8. 19	富士川地域 福祉センター 多目的室	○平成28年度赤い羽根募金実施計画について ○平成28年度歳末たすけあい運動実施計画について ○街頭募金について

6. 総務部会

	場 所	会 議 事 項
28. 11. 7	フィナンセ東館 社協相談室	○改正「社会福祉法」に基づく社会福祉法人制度見直しについて ○次年度からの理事、監事、評議員及び評議員選任・解任委員について

7. 苦情解決第三者委員会

	場 所	会 議 事 項
28. 8.30	フィナンセ東館 社協相談室	○苦情解決体制について ○昨年度の苦情等の事例報告

8. 正副会長会

	場 所	会 議 事 項
第 1 回 28. 5.19	フィナンセ東館 社協相談室	○第 2 回理事会について ○第 3 回理事会日程
第 2 回 28. 8.17	フィナンセ東館 介護相談室	○第 4 回理事会について ○部会の構成について ○第 5 回理事会・第 3 回正副会長会議日程
第 3 回 28.11.22	フィナンセ東館 社協相談室	○第 5 回理事会について ○第 4 回正副会長会議、第 6 回理事会、第 3 回評議員会 日程
第 4 回 28.12.12	フィナンセ東館 社協相談室	○第 6 回理事会について ○第 3 回評議員会、第 5 回正副会長会議、第 7 回理事会 日程
第 5 回 29. 1.24	フィナンセ東館 社協相談室	○第 7 回理事会について ○第 6 回正副会長会議、第 8 回理事会、第 5 回評議員会 日程
第 6 回 29. 3.16	フィナンセ東館 社協相談室	○第 8 回理事会について ○平成 2 9 年度第 1 回正副会長会議、第 1 回理事会日程

3. 事業実施状況

【広報啓発事業】

1. 各種広報媒体の活用

市民に広く社協への理解をいただくため、また、事業等で社協を活用していただくため、全戸に広報紙「お元気ですか」を配布すると共に、ホームページの充実を図り、さらに市内のコミュニティーエフエム（ラジオエフ）の放送に社協役職員・ボランティア・モニターが出演するなど、様々な広報啓発活動を行った。

(1) 広報紙『お元気ですか』の発行

会員である市民に対し、読みやすく分かりやすい福祉情報を発信すると共に、社協への理解を高めるために年4回発行した。

- ・ 6 / 20号 社協の予算・決算について 他
- ・ 9 / 20号 地区福祉推進会の活動 他
- ・ 新年号 ボランティアの活動の場 他
- ・ 3 / 20号 広報紙「お元気ですか150号」 他

広告協賛企業（敬称略）

ロゼ にじいろクリニック(医療法人財団新六会)	4回
小松クリニック(医療法人社団青葉会)	4回
はせ川	2回
三成設備	1回

(2) Radio-fの活用

- ・ 月1回（最終水曜日）放送の「はあとふるトーク」に役職員、ボランティア等が年間12回出演し、社協事業のPRに努めた。
- ・ 災害時の連携を視野に入れた防災パートナーズスポットCMを毎月1回実施した。その他に、随時広報媒体として協力を求め活用をした。

(3) ウェブサイトの充実

- ・ 市民にわかりやすい福祉情報を発信するため、ウェブサイトの情報更新を随時行った。また、速報性の高い情報は社協公式ブログに掲載した。

2. 富士市社会福祉大会

社会福祉関係者の表彰及び記念講演をロゼシアターで開催した。

- ・開催日 11月14日（月）
- ・開催場所 ロゼシアター 中ホール
- ・参加人員 約600人
- ・内容 表彰式 被表彰者 90人

活動発表 「こども食堂は、子育てを応援します」

発表者 こども食堂富士見台

代表 大庭あゆみさん

講演 「人として、報道人として」

～震災報道の裏側といのち～

講師 アナウンサー 笠井信輔さん



福祉大会 表彰式



講演

3. 社協モニター制度

社協事業に対して市民各層の意見や要望を把握するとともに、社協の啓発を行い、社協の充実強化を図ることを目的にモニターを2年間委嘱し、会議への出席やモニター通信で意見の提言をお願いした。

- ・モニター会議 4回
- ・通信受付状況 16件

4. 福祉図書コーナーの運営

フィランセ東館3階市民交流フロアに福祉図書コーナーを置き、図書等の貸出を行った。

(1) 図書等の貸出

・福祉図書	29冊
・ビデオ・DVD	24件
・カセット・CD	2件

(2) 貸出利用券新規発行者数 11人

5. 「市民福祉まつり」の開催

ノーマライゼーションの理念に基づき、あらゆる人が気軽に心地よくふれあう場を創出し、福祉への理解を深め、共に生きるまちづくりをすすめることを目的に開催した。当会は、このまつりの実行委員会の事務局を担っている。



市民福祉まつり

第36回市民福祉まつり

テーマ：であい ふれあい わかちあい ～来て 見て 遊んで 参加して！～

- ・日時 10月16日(日) 午前9時30分～午後3時
- ・場所 中央公園西側イベント広場
- ・内容
ステージ部門 福祉施設などの音楽、劇、ダンスの披露
福祉部門 障がいの理解を深める福祉体験と来場者サポート
バザー部門 福祉施設や各種団体による模擬店及びバザー
子ども部門 ゲーム、紙芝居などで、みんなで楽しくふれあう場
啓発部門 介護関連商品の展示及び体験など福祉情報の発信
総務部門 まつり本部運営や駐車場、交通案内、警備等の連絡調整
- ・主催 市民福祉まつり実行委員会

6. 市民活動団体“はじめての一步”助成金

市民活動を始めようとする団体に対し、その設立等に係る経費の支援を行うことにより、福祉・文化・教育等の向上を図ることを目的に助成を行った。

- ・申請団体 3団体
- ・助成額 222,000円



“はじめての一步”助成金報告会

【社協会費募集】

6月を社協会費募集月間に定め、各世帯よりいただく普通会費、篤志家よりいただく特別会費の募集、福祉団体及び福祉施設・福祉事業所から団体施設会費として、ご協力をいただいた。

- ・協力団体（敬称略） 町内会（区長会）、民生委員児童委員協議会、他諸団体
- ・実施状況

区 分	金 額	実 績 額
普通会費	各世帯 300円	23,415,700円
特別会費	個人・企業・法人 1000円以上	6,572,250円
団体施設会費	福祉施設・団体 1000円以上	357,000円
合 計		30,344,950円

【援護事業】

1. 援護事業

(1) 緊急一時援護事業

低所得世帯等で、緊急に援助を要する世帯であって、返済の見込のたたない者に5万円を限度に援護を行った。

- ・生活援護 8件 205,000円

(2) 小口資金貸付事業

低所得世帯を対象に、一時的に必要な生活資金を5万円を限度に無利子にて貸付け、世帯の自立支援を行っている。

・貸付	18件	500,000円
-----	-----	----------

(3) 罹災世帯援護事業

火災に遭われた罹災世帯に対し見舞い金を支給した。

・全焼	7件	210,000円
-----	----	----------

・半焼	3件	60,000円
-----	----	---------

(4) 高額療養費等資金貸付事業

国保加入者で高額な医療費の支払に困っている方に、高額療養費等資金の貸付を行った。

・貸付	378件	30,102,841円
-----	------	-------------

<内 訳>

1. 高額療養費	210件	25,937,530円
----------	------	-------------

2. 重度医療費	166件	4,072,310円
----------	------	------------

3. 母子医療費	2件	93,001円
----------	----	---------

(5) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯の生活意欲を助長し、その自立更生を図ることを目的に県社協の審査を経て生活福祉資金等の貸付を行った。

・教育支援資金	4件	1,201,000円
---------	----	------------

・福祉資金	4件	635,533円
-------	----	----------

・総合支援資金生活支援費	1件	285,832円
--------------	----	----------

・緊急小口資金	7件	625,000円
---------	----	----------

合 計	16件	2,747,365円
-----	-----	------------

(6) 児童援護事業

・低所得世帯小中学校入学支度費支給	2,008,000円
・低所得世帯小中学校修学旅行支度費支給	2,690,000円
・児童遊び場設置費助成	386,000円
・交通遺児入学祝金・見舞金の支給	50,000円
・交通遺児等育英奨学金支給	624,000円
・交通遺児等育英奨学生卒業・進級・入学祝	25,000円

(7) 高齢者援護事業

・敬老会助成	一人あたり200円	対象人数27,284人
		5,456,800円

2. 福祉団体等援護事業

(1) 児童福祉団体

・子ども会世話人連絡協議会助成	300,000円
・里親会助成	50,000円
・静岡県児童福祉施設球技大会助成	30,000円

(2) 高齢者福祉団体

・悠容クラブ連合会助成	200,000円
・認知症の人と家族の会助成	100,000円
・在宅介護者家族の会助成	50,000円

(3) 障がい者福祉団体

・手をつなぐ育成会運営助成	300,000円
・身体障害者福祉会運営助成	200,000円
・視覚障害者福祉会運営助成	50,000円
・聴覚障害者協会運営助成	50,000円
・三福祉団体スポーツレクリエーション大会助成	30,000円



三福祉団体スポーツレクリエーション大会

(4) 地域活動団体

・町内会活動費助成	5, 1 2 5, 6 0 0 円
・民生委員児童委員活動実費弁償費	4 2 4, 0 0 0 円
・民生委員児童委員協議会活動費助成	3 0 0, 0 0 0 円
・女性ネットワーク富士活動費助成	1 0 0, 0 0 0 円

(5) 権利擁護団体

・人権擁護委員会助成	7 0, 0 0 0 円
------------	--------------

(6) ボランティア団体

・ボランティア連絡会助成	3 0 0, 0 0 0 円
・災害ボランティア連絡会助成	2 0 0, 0 0 0 円

【地域福祉推進事業】

1. 地区福祉推進会の活動支援

「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、地域の実情に応じた地域福祉活動を進めるための住民組織「地区福祉推進会」において市内26地区それぞれに活動を支援する担当職員を配置し、その地域に必要な福祉活動について、地域の皆さんと共に協議し事業を実施した。



天間地区七五三奉納福祉相撲大会見学研修



原田地区市民ふれあいバンクお仕事体験

各地区活動状況

地区名	発足年度	主 な 事 業		
富士南	昭和63年	地域見守り活動	学校行事への協力	高齢者お楽しみ会
富士見台	平成元年	ぼらんていあスクール	ふるさと伝承	ふれあい交流会
今 泉	〃	高齢者見守り活動	中学生福祉体験	顔の見える関係づくり
吉 永	〃	ひとこえ会	愛の家庭訪問	ふれあい歌声喫茶
天 間	平成2年	ふれあい昼食会	住民福祉講座	七五三奉納相撲大会
須 津	平成3年	ふれあい夕食サービス	ホットひといき広場	ふれあい昼食会
岩 松	平成4年	高齢者等支援事業	かりがねまつり	梅まつり福祉バス運行
富士駅南	平成6年	福祉フェスティバル	住民福祉ネットワーク	ボランティアサポート
丘	平成7年	七夕まつり	高齢者おせち配食	福祉講座
浮 島	平成8年	ふれあい交流会	ふれあい昼食会	愛の声かけ訪問
原 田	〃	バンク仕事体験	ふれあい配食	サロン交流会
元吉原	平成9年	ふれあい配食	親子ふれあい交流事業	ふれあい昼食会
鷹 岡	平成10年	三世代交流会	ふれあい昼食会	福祉講演会
伝 法	〃	中学生福祉体験	ふれあい交流会	ふれあい配食
富士駅北	〃	ふれあいの集い	障がい者との交流事業	福祉講演会
吉 原	平成12年	ふれあい昼食会	ふれあい交流会	絵手紙慰問
田子浦	〃	ふれあい配食	住民福祉講座	ふれあい昼食会
岩松北	平成13年	梅まつり福祉バス運行	ふれあい昼食会	放課後子ども教室
青葉台	〃	防災グッズ配布	うたごえサロンつぼみ	クリーン&ウォッチャー
神 戸	〃	ふれあい交流	ホッとものと広場	神戸福祉寄席
広 見	平成14年	福祉フェスティバル	サロン交流会	ふれあい昼食会
吉永北	平成15年	ふれあい配食	ふれあい訪問	昔あそび体験
富士北	平成16年	こえかけネット	ふれあい配食会	福祉講演会
大 淵	〃	こえかけ運動	あいさつ運動	ふれあい配食
富士川	平成21年	福祉委員研修会	サロンへの支援	セキュリティシステム
松 野	〃	福祉委員研修会	サロンへの支援	健康運動推進講座

2. 地区福祉推進会連絡会の活動支援

各地区福祉推進会の事業活性化のために情報交換を行った。

また、市内を6ブロックに分けたブロック会議では、それぞれの課題や今後取り組んでいきたいテーマを基に、会議・研修会等を行った。

<正副会長会議>

- 5月25日(水) 平成28年度の事業について
- 10月4日(火) 各ブロック会議の報告・研修会について
- 1月26日(木) ブロック再編・生活支援事業について
- 2月28日(火) 地域包括との連携について

<ブロック会議>

東部ブロック会議

8月25日(木)、2月23日(木)

サロンの現状と課題について、回想法の講義と実践

中部ブロック会議

7月13日(水)、2月8日(水)

詐欺から守る見守り、こども食堂富士見台について

北部ブロック会議

7月28日(木)、1月19日(木)

推進会の認知度について、健康づくり講座

南部ブロック

8月26日(金)、2月17日(金)

地域活動計画について、認知症の人と家族について

北西部ブロック

8月28日(日)、11月15日(火)

発達障害児に対する考え方と地域の関わり合いについて

天間地区七五三奉納福祉相撲大会見学研修

西部ブロック

8月24日(水)、2月15日(水)

健康ウォーキング、各地区1万歩コース紹介、ふじサンサン体操

<全体事業>

6月14日（火） 富士市地区福祉推進会連絡会
事業報告及び事業計画

12月14日（水） 連絡会研修会
これからの地域支援事業について
超高齢社会において何をしていくか



福祉推進会連絡会 研修会



東部ブロック会議 回想法研修

3. 見守り活動の実施（小地域福祉ネットワーク事業）

各地区及び各地域の中で、要援護者に対し見守り活動を展開し、安否を確認した。

・実施状況

- <富士南地区> 小中学生を見守る毎日の防犯パトロールを実施
- <今泉地区> 近隣の方（ご近所さんネット）が日常的な安否確認を実施
- <吉永地区> 近隣の方（ひとこえ会）が日常的な安否確認を実施
- <岩松地区> 近隣の方（みまもり隊）が日常的なこえかけを実施
- <富士駅南地区> 住民福祉ネットワークで高齢者宅を誕生月等に訪問
- <富士駅北地区> 近隣の方（見守り協力者）が日常的な安否確認を実施
- <富士北地区> 近隣の方（こえかけボランティア）が日常的なこえかけを実施
- <大淵地区> 近隣の方（こえかけ会員）が日常的なこえかけを実施

4. ふれあい・いきいきサロンの推進

ふれあい・いきいきサロンは、日常生活の基盤である地域社会において、高齢者や障がい者の孤独感等の解消並び介護予防を目的とした組織。ふれあい・いきいきサロンを地域住民が自主的・自発的に取り組み、地域にとけ込んだふれあいと見守りの場となりえるよう支援した。

- ・対 象 家に閉じこもりがちな高齢者・障がい者等
- ・利用料 無料
- ・開設数 160カ所 (3月31日現在)
- ・サロン交流会 よりよいサロン運営につながるように、情報交換や交流の場として、市内を6カ所に分けてブロック別に開催

開催日 2月16日(木)、21日(火)、28日(火)、
3月7日(火)、9日(木)、14日(火)

場 所 神戸、須津、今泉、松野、
鷹岡各まちづくりセンター
フィランセ

参加者 232人
(サロン185人、推進会47人)



ふれあい・いきいきサロン交流会

5. さわやかコール事業

ひとり暮らし高齢者の安否確認を目的に、民生委員児童委員を通じて申し込みをおこない、委託先であるヤクルトの方がひと声かけながら乳酸菌飲料を宅配するサービスを実施。声かけ時に応答がないなど安否が確認できなかった際には、担当の民生委員児童委員や緊急連絡先等に確認をしたほか、必要に応じて職員が訪問し安否確認を行った。

- ・委託先 中央静岡ヤクルト販売(株)
- ・訪問日 週3回が基本
- ・対象者 月平均 449人

【ボランティア活動の推進】

1. ボランティアセンター運営事業

(1) ボランティアセンター利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館日	28	27	29	29	29	27	29	27	26	26	26	29	332
利用者数	727	501	672	701	582	431	738	583	668	519	533	490	7,145
1日平均	26.0	18.6	23.2	24.2	20.1	16.0	25.4	21.6	25.7	20.0	20.5	16.9	21.5

・ボランティア活動希望 91件

(2) 需給調整

・ボランティア活動依頼 302件

・ボランティア対応 256件（延べ 923人）

(3) ボランティア保険の普及

・加入者数 3,723人

(4) 富士市ボランティア連絡会

連絡会は、加入しているボランティアグループで組織し、情報交換をはじめ、ボランティアに関する研修を実施した。

・毎月第1金曜日 定例会開催

・加入団体 39団体 438人

(5) 富士市災害ボランティア連絡会

災害時におけるボランティア活動がスムーズに行えることを目的に、災害ボランティア連絡会を組織し、定例会での情報交換をはじめ研修や災害ボランティア支援本部開設訓練等を実施した。

・加入団体 12団体

富士市災害救援バイク隊『ペガサス』	静岡縣市町村職員年金者連盟富士市支部
富士市アマチュア無線非常通信協力会	災害ボランティアコーディネーター富士
富士市ボランティア連絡会	富士RB
富士市まとい会	静岡県看護協会富士地区支部
富士市赤十字奉仕団	家具やしめ隊
百歩の会	常葉大学ハルジオン

・災害ボランティア支援本部開設訓練

開催日 1月28日(土) 13:00～15:30(準備訓練)
29日(日) 7:30～12:00(ボランティア受入訓練他)

場所 富士市フィランセ、富士市富士川ふれあいホール 他

内容 災害時を想定したボランティア受入訓練、防災用品の展示 他

参加者 スタッフ 168名、一般参加者 289名



ボランティア受付



オリエンテーション

(6) 企業の地域貢献・社会貢献活動への協力

富士市内外の事業所による地域貢献・社会貢献活動の推進に対して連携及び協力を図るため、今後の活動や連携についての協議を行った。

対象企業及び事業所 6社

2. ボランティア育成事業

ボランティアニーズの多様化に伴い、これからボランティアを始めようとする人たちにボランティアの基本を身につけていただくと共に、現在ボランティア活動をしている人にボランティアについての認識を深めてもらうために、各種講座や研修会を開催した。

(1) ボランティア講座

ボランティア活動の未経験者や既にボランティア活動をされている方々を対象に自分の行動や活動を振り返り、ボランティアに対する新たな気づきを促すことを目的に開催した。

・開催日 7月16日(土) 10:00～12:00

・内容 講演 「自分たちのまちは、自分たちでつくる」
～支え合う地域づくりをめざして～
講師 認定NPO法人 市民セクターよこはま 吉原 明香 氏

・参加者 38人

(2) 託児ボランティア養成講座

託児ボランティアの基礎的なことや子どもたちとの楽しい遊び方、子どもの障がいや発達についての基本を学ぶ講座を開催した。

- ・開催日 7月2日（土）、9日（土）（全2回）
10:00～12:00
- ・内容 子どもとの接し方や遊び方、託児ボランティアとの交流会、託児ボランティアの必要性、ボランティア活動について、託児ニーズの紹介
- ・参加者 16人



託児ボランティア養成講座

(3) 音訳ボランティア養成講座

視覚障がい者の情報手段の拡充や自立と社会参加の支援をするための音訳に携わるボランティアを養成するための講座を開催した。

- ・開催日 1月18日（水）、25日（水）、2月1日（水）、
8日（水）、15日（水）、22日（水）（全8回）
9:00～12:00（実習日を除く）
- ・内容 音訳基礎技術を身につけるための実技、リスナーとの懇談
- ・参加者 16人（8人修了）

(4) 家具固定ボランティア講座

家具固定に必要な知識を学ぶとともに、ひとり暮らし高齢者など自分では家具の固定ができない方々への支援を目的に講座を開催した。

- ・開催日 3月10日（金）、17日（金）、24日（金）（全3回）
19:00～21:00
- ・内容 家具固定の必要性、家具固定方法の講義と実技
- ・参加者 13人（全員修了）

(5) 傾聴ボランティア養成講座

地域や身近な場所で相手の声に耳を傾ける方や様々なボランティア活動の場で傾聴技術を役立てていただく方を増やしていくことを目的に講座を開催した。

- ・開催日 9月10日（土）、24日（土）
10月2日（日）、9日（日）、22日（土）（全5回）
9：00～12：00
- ・内容 傾聴に関する講義と傾聴技術を学ぶための実技
- ・参加者 27人（21人修了）

(6) 移送ボランティア研修会

移送ボランティア向けに、事業説明及び交通安全講習、また、ボランティア間の交流を深める目的で研修会を開催した。

- ・開催日 11月12日（土）、19日（土）（全2回）
9：00～12：00
- ・内容 中央自動車学校協力による、運転指導・誘導方法の講習
- ・参加者 15人（移送ボランティア登録者7人・新規参加者8人）



移送ボランティア研修会

(7) 音訳ボランティア懇談会

音訳ボランティアグループ間の情報交換と交流を目的に開催した。

- ・開催日 3月17日（金） 10：00～11：30
- ・内容 日頃の音訳活動について 等
- ・参加者 8人（やまびこ5日号、C3PO、秋桜、すみれ）

3. 障害児（者）サービス事業

(1) 移送サービス事業

車いす使用者の通院・リハビリ等にリフト付ワゴン車で送迎を行うサービスを実施した。

- ・利用件数 370件
- ・走行距離 14,223km
- ・利用登録者数 40人
- ・移送ボランティア登録者数 51人
- ・延べ活動者数 1,030人

(2) 移送車両貸出事業

車いす使用者に対して、移送車両を貸出し、社会参加の促進を図った。

- ・貸出件数 62件

(3) ふじおもちゃ図書館の運営

ハンディキャップのあるなしにかかわらず、おもちゃを通しての交流の場として開館した。

- ・開館日 火・木・土曜日 10:00～12:00
日曜日 10:00～12:00 13:00～15:00
- ・協力団体 ふじおもちゃ図書館ボランティア 38人
- ・会場 ふじおもちゃ図書館（富士市フィランセ東館4階）

利用状況

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	432	457	592	572	416	490	412	398	259	275	231	427	4,961

(貸し館)

ふじおもちゃ図書館閉館時に、障がい児（者）及び団体に託児や交流のスペースとして貸し館を行った。

利用状況

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	391	287	312	299	526	256	294	216	393	289	300	506	4,069

(4) 声の広報事業

ボランティアグループの協力により、月2回発行される「広報ふじ」や「警察だより」「市議会だより」等をCD及びテープに吹き込み視覚障がい者に情報提供した。

- ・利用者 31人
- ・協力団体 5団体（やまびこ5月号・20月号、すみれ、C3PO、秋桜）

【福祉教育の推進】

1. 福祉人材育成事業

これからの福祉事業に携わる人材の定着及び確保を目指し、広く福祉に関する啓発を行うための福祉人材育成事業に取り組んだ。

<実行委員会>

- ・内 容 本会と市内の各関係機関との連携及び協働による事業計画立案のための実行委員会を設置し、実施内容の検討を行った。
- ・開催日 6月24日（金）、10月6日（木）、11月17日（木）、2月9日（木）（全4回）
- ・参加者 8人

<研修会>

- ・開催日 1月10日（火） 13:30～16:30
- ・会 場 富士市フィランセ西館4階大ホール
- ・内 容 人材確保のノウハウ
- ・講 師 門野友彦氏（らしさ研究所 所長）
- ・対象者 社会福祉施設等の職員
- ・参加者 36人

2. 夏休み福祉なんでも学習

夏休みの自由研究の課題や福祉全般についての学習のヒントとなる体験型学習会を開催した。

- ・開催日 8月6日(土) 9:00～12:00
- ・会場 富士市フィランセ3階
- ・内容 福祉・ボランティアに関する資料提供や疑似体験
- ・参加者 169人(来場者 113人 ボランティア 56人)

3. 出前福祉体験(車いす、アイマスク等)や福祉講話の実施

福祉教育を積極的に推進するため、学校単位・クラス単位等において出張し、体験学習や福祉に関する講話等を行った。

9件 市内小中学校・高校等にて

4. 富士市福祉教育担当者連絡会の開催

社協から提供できるプログラム等の紹介や、いかに地域と連携し、福祉の総合学習を通してどのような学びを得られたのかを共有し合い、各校における福祉教育の推進に資することを目的に連絡会を開催した。

- ・開催日 6月27日(月) 15:15～16:30
- ・内容 講演「福祉教育副読本を使用した福祉教育実践報告」
グループワーク
- ・参加者 21人

5. 福祉体験機材の貸し出し

福祉の心を育むための体験用として疑似体験機材を貸し出した。

	車いす	アイマスク 白杖	シニア	右マヒ	点字盤	ボッチャ	触感体験 セット
個数	220	193	169	14	180	9	14
回数	37	23	22	4	12	9	11

内訳	学校	15
	地区	35
	施設	9
	その他	13

6. 富士市教育委員会初任者研修への協力

富士市教育委員会主催による平成28年度新規採用教員を対象とした「福祉体験講座」において講師及び体験指導を行った。

- ・開催日 1日目 12月1日(木) 9:00～16:10
2日目 12月8日(木) 9:30～16:20
- ・内容 福祉講話、車いす体験、アイマスク体験、グループ協議及び発表
- ・参加者 37人

7. キッズジョブ2016への協力

市とふじさんめっせ共催による子どもたちに職業体験をさせるイベントに、介護サービス室との連携で協力参加した。

- ・開催日 8月20日(土)、21日(日) 10:00～16:00
- ・会場 富士市産業交流展示場 ふじさんめっせ大展示場
- ・実施内容 リフトを使用しベッドから車いす、車いすからベッドへの移動体験
片麻痺を想定し、補助具・ユニバーサル食器体験
電動車いす体験
介護ロボットや各種資料の展示
- ・体験者 1日目 74名 2日目 179名

【相談事業】

1. 福祉相談室の運営

フィランセ東館1階に就労総合支援センターが開設されたことに伴い、従来の福祉相談事業と併せた総合的なサービスを市民に提供するため、相談員1名を配置。月曜日から金曜日まで、福祉・生活に関わる初期相談に応じ、直接来所できない方のために電話相談(64-3294)を行った。さらに専門的な相談に対しては関係機関と連携を密にしながら対応した。

<相談状況>

相談件数	1,099件
<内訳>	
来所相談	171件
電話相談	926件
その他	2件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談件数	78	70	106	104	124	103	82	89	72	81	90	100	1,099

相 談 内 容	件 数
福祉制度等の利用相談	1
福祉サービス等の利用相談	11
自立生活についての相談	113
家庭生活についての相談	193
教育に関する相談	1
就労に関する相談	25
医療・健康に関する相談	68
虐待に関する相談	3
その他	857
合 計	1,272 ※重複回答あり

2. 結婚相談

6名の相談員が毎週水曜日及び毎月第2、第4日曜日に社協相談室において結婚に関する相談に応じた。

・相談件数 4,292 件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開催日数	6	5	7	7	7	6	7	6	5	6	6	7	75
相談件数	347	358	414	327	419	394	327	366	320	366	330	324	4,292

・新規登録件数 152 件

・男性

年齢	20～24	25～29	30～34	35～39	40～49	50以上	計
計	1	9	18	17	43	16	104

・女性

年齢	20～24	25～29	30～34	35～39	40～49	50以上	計
計	0	8	12	13	6	9	48

- ・引き合わせ件数 195組
- ・成立件数 7組
- ・特設相談状況
 - 「出会いふれあいパーティー」 3回開催 85人 参加
 - 「女性のための結婚相談」 2回開催 6人 来所

3. 生活困窮者自立相談支援事業の実施

フィランセ東館1階に生活困窮者からの相談に早期かつ包括的に応ずるくらし・しごと相談窓口を開設。3名の相談員を配置し相談者の抱えている問題を適切に評価・分析し、その課題を踏まえた「自立支援計画」を相談者本人と共に作成して、相談者の生活の立て直しに向けた支援を行った。

事業の周知に関して、関係機関や事業所と連携をとり積極的なアウトリーチを行い、ニーズ把握と併せて市民や関係機関へ情報提供を行った。

就労支援に関しては、市内の各事業所を訪問し制度や就労支援の内容について理解を深めていただき、実際の就労へつなげていくための説明等を行った。

<相談状況>

相談件数	2, 252件		
<内訳>	男性	1, 211件	来所 628件
	女性	1, 040件	電話 1, 116件
	不明	1件	メール 21件
			訪問 242件
			同行 245件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談者数	53	45	50	55	62	63	65	73	70	84	72	96	788
新規相談者数	16	8	16	18	19	13	11	11	16	16	17	15	176

相 談 内 容	件 数
病気や健康、障害のこと	1 7 8
家賃やローンの支払いのこと	1 4 5
仕事探し、就職について	6 7 4
家族との関係について	1 5 5
ひきこもり・不登校	1 5
住まいについて	1 6 2
税金や公共料金等の支払について	1 1 6
仕事上の不安やトラブル	6 8
子育てのこと	2 4
DV・虐待のこと	7
収入・生活費のこと	3 3 8
債務について	1 1 2
介護のこと	1 4
地域との関係について	4
食べるものがない	1 7 7
その他	6 8 0
合 計	2, 8 6 9

支 援 内 容	件 数
食料支援	1 7 1
住居確保給付金	2 1
一時生活支援	1 5
福祉資金貸付	2 4
就労支援	3 9 2
就労準備支援	4 7
学習支援	2
生活保護	2 8
緊急援護費支給	5
他法紹介	6 2
家計相談支援	2 8
相談のみ	1, 2 3 2
合計	2, 0 2 7

※重複あり

【在宅福祉サービス事業】

1. 日常生活自立支援事業

住み慣れた地域で安心して暮らせるように、福祉サービス利用の援助や日常生活に必要なお金の出し入れ、福祉サービスの利用料・公共料金などの支払いを支援した。

- ・利用対象 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で、自身の判断能力に不安のある方
- ・援助内容 福祉サービスに関する情報提供、利用手続きの代行
日常的な金銭管理の支援、重要書類等の預かり

区 分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
相談件数	30	8	14	21	73
契約件数	17	26	15	13	71
契約者支援	1,828	2,476	1,685	1,123	7,112

2. 成年後見支援センター運営事業

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない人が成年後見制度を的確に利用できるよう支援を行い、これらの人の権利を尊重し擁護することにより地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度の利用促進を図ることを目的として設立された成年後見支援センターで市民等の相談を受けた。

相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談件数	14	13	8	18	13	14	10	14	10	27	16	20	177

3. 市民後見推進事業

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等が住みなれた地域で権利や利益が守られ、安心して生活できるようにするため、成年後見制度の担い手として市民後見人の養成を目的に研修会を開催した。

<第3回市民後見人養成研修（実務研修）>

- ・開催日 5月21日（土）～7月23日（土）（全5日間21時間）
- ・内 容 実務研修を実施（その他実習、レポートを実施）
- ・受講者 16人

<市民後見人候補者選考会議>

- ・開催日 9月28日（水）
- ・内 容 市民後見人養成研修修了者へ、活動への意欲や適性確認のため面接選考の上で、候補者を名簿登録
- ・登録者 上記養成研修修了者15名、前年度補講者4名 計19名

<市民後見人候補者継続研修>

市民後見人候補者の第1～3回の修了者が日常生活自立支援事業の支援員として、引き続き研鑽を積んで行き、そのフォローアップ、モチベーションの維持のために継続研修を開催した。

- ・開 催 2ヶ月に1回 (全6回)
- ・内 容 地域包括支援センターについて、医療ソーシャルワーカーについて、悪質商法を知って見守り力を高めよう、支援員活動について、これからの地域支援と市民後見人への期待、県内権利擁護事業実施状況について

<成年後見制度講演会>

- ・日 時 12月9日(金)
- ・講 師 公益財団法人さわやか福祉財団 土屋幸己氏
- ・内 容 一般市民向け成年後見制度普及啓発講演会
- ・参加者 191名

4. 法人後見事業

<成年後見等審査委員会>

- ・日 時 9月12日(月)

<法人後見人受任>

家庭裁判所、後見人と協議を重ね、市民後見を見据えた法人後見人を1件新たに受任した。合計2件受任中。

5. 福祉機器リサイクル事業

高齢者などの在宅生活の支援、社会参加の促進、家庭介護の軽減を図ることを目的に、不用となった福祉機器を無償で提供していただける方と譲り受けたい方とのリサイクル情報の橋渡しを行った。

- ・対 象 不用になった福祉機器を譲りたい方
お年寄りなどで福祉機器を必要とする方
- ・費 用 無料（運搬・修理に関する費用は譲り受ける方が負担）
- ・物 品 福祉機器・介護用品（直接身体に触れる物品は未使用のもの）
- ・実 績 譲ります情報 54件 求めます情報 109件
成立状況 42件

6. 家族介護者交流事業

在宅において、ねたきり高齢者や認知症高齢者を介護している方々の親睦を図るとともに、日頃の介護の疲れを癒すことを目的に開催した。

<介護おしゃべりカフェ>

第1回 10月29日（土）

「心寄り添う癒しのタッチセラピー」参加者20名

第2回 11月27日（日）

「家の中の危険個所を学ぼう」 参加者15名

<肩こり腰痛解消ストレッチ教室>

12月11日（日）

参加者16名

<フライパン一つで出来る簡単料理教室>

1月14日（土）

参加者 7名

（計4事業）

7. 車いす短期貸出事業

病気やケガ及び旅行等、短期間(病2週間)車いすを必要とする方へ貸出を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
貸出件数	20	10	16	15	21	23	16	25	16	14	21	22	219

【社会福祉センターの運営】

富士市からの指定管理者として社会福祉センター（広見荘、田子浦荘、東部市民プラザ、鷹岡市民プラザ）の管理を行い、高齢者をはじめ市民の健康増進や憩いの場として提供した。

項 目	広見荘	田子浦荘	東部市民プラザ	鷹岡市民プラザ	合 計
高 齢 者	41,825人	35,643人	30,648人	22,654人	130,770人
障がい者	290人	71人	430人	124人	915人
児 童	340人	21人	67人	24人	452人
そ の 他	457人	12人	3,751人	15,355人	19,575人
合 計	42,912人	35,747人	34,896人	38,157人	151,712人
開 館 日 数	281日	281日	281日	281日	281日
1日平均利用者数	153人	127人	124人	136人	540人

【生きがいデイサービス事業】

在宅で閉じこもりがちな高齢者を対象に、自立生活の支援及び社会参加の促進を図ることを目的に生活指導・介護予防体操・レクリエーション等のサービスの提供を行った。

- ・実施場所 健康クラブ （広見荘 毎週火・木・土）
- 元気クラブ （田子浦荘 毎週火・木・土）
- あったかクラブ（鷹岡市民プラザ 毎週火・木・土）
- うららかクラブ（富士川地域福祉センター 毎週火・水・木）
- ・開所日数 健康クラブ 1 4 2 日
- 元気クラブ 1 4 2 日
- あったかクラブ 1 4 2 日
- うららかクラブ 1 4 8 日
- ・延利用者数 健康クラブ 1, 8 0 5 人
- 元気クラブ 1, 8 0 7 人
- あったかクラブ 1, 2 3 8 人
- うららかクラブ 1, 3 6 9 人

【健康づくりデイサービス事業】

要支援状態等にある高齢者を対象として、自立生活の支援及び社会参加の促進を図ることを目的に、介護予防サービス計画または介護予防ケアマネジメントの内容に沿って、生活指導・介護予防体操・レクリエーション等のサービスの提供を行った。

・実施場所	健康クラブ	(広見荘 毎週火・木・土)
	元気クラブ	(田子浦荘 毎週火・木・土)
	あったかクラブ	(鷹岡市民プラザ 毎週火・木・土)
	うららかクラブ	(富士川地域福祉センター 毎週火・水・木)
・開所日数	健康クラブ	142日
	元気クラブ	142日
	あったかクラブ	142日
	うららかクラブ	148日
・延利用者数	健康クラブ	153人
	元気クラブ	277人
	あったかクラブ	226人
	うららかクラブ	357人

【介護保険事業】

1. 居宅介護支援事業

- ・利用者延べ人数 3, 224人
(事業対象者…40人 要支援…629人 要介護…2, 555人)
- ・利用者内訳 事業対象者…40人(1.2%) 要支援1…235人(7.3%)
要支援2…394人(12.2%) 要介護1…792人(24.6%)
要介護2…797人(24.7%) 要介護3…519人(16.1%)
要介護4…206人(6.4%) 要介護5…241人(7.5%)
- ・介護認定調査 149件(富士市…101件 富士市以外…28件 県外…20件)

2. 訪問介護事業

- ・利用者訪問延べ回数 8, 537回
(事業対象者…93回 要支援…899回 要介護…7, 545回)
- ・利用者内訳 事業対象者…93回(1.1%) 要支援1…208回(2.4%)
要支援2…691回(8.1%) 要介護1…1, 232回(14.4%)
要介護2…1, 805回(21.1%) 要介護3…2, 071回(24.3%)
要介護4…748回(8.8%) 要介護5…1, 689回(19.8%)

3. 訪問入浴介護事業

- ・利用者延べ人数 396人
- ・利用者内訳 要介護2…13人(3.3%) 要介護3…146人(36.9%)
要介護4…167人(42.2%) 要介護5…70人(17.6%)

4. 通所介護事業

(1) 富士川デイサービスセンター

- ・開所日数 310日
- ・利用延べ人数 12,879人
(事業対象者…40人 要支援…688人 要介護…12,151人)
- ・利用者内訳 事業対象者…40人(0.3%) 要支援1…235人(1.8%)
要支援2…453人(3.5%) 要介護1…4,703人(36.5%)
要介護2…3,633人(28.2%) 要介護3…2,383人(18.5%)
要介護4…490人(3.8%) 要介護5…942人(7.4%)

【障害福祉サービス事業】

1. 居宅介護

- ・利用者数 25人
- ・延派遣回数 3,837回
- ・延派遣時間数 4,659時間45分

2. 同行援護

- ・利用者数 19人
- ・延派遣回数 1,010回
- ・延派遣時間数 3,570時間30分

3. 移動支援

- ・利用者数 6人
- ・延派遣回数 224回
- ・延派遣時間数 320時間45分

4. 訪問入浴（身体障害者）

- ・利用者数 2人
- ・延派遣回数 149回

【障害者就労支援施設・生活介護事業所の運営】

障害者就労支援施設・生活介護事業所を運営し、利用者への知識及び能力等の向上の為に必要な訓練や創作的活動又は生産活動の機会の提供を行った。さらに、平成28年8月1日から、ひめな、ふじばら作業所、まつぼっくりにて利用者送迎サービスを開始した。また、職員の資質向上を目的とし、研修を実施した。なお、まつぼっくり指定就労移行支援事業所の運営は本年度をもって終了した。

利用者人数	155名	男性	84名	女性	71名	※3月31日現在
平均年齢	38歳	最高齢	69歳	最年少	18歳	※3月31日現在
月平均工賃			15,345円			
		最高	40,201円			
		最低	3,574円			(生活介護以外の事業所)

単独型事業所（指定就労継続支援（B型）事業所） *利用者数は3月31日現在

事業所名	開設年月日	利用者数	主な自主製品等
竹の子	S63.4.1	19人	手作り石けん ビーズ製品
ひめな	H8.10.1	16人	縫製品 しいたけっ粉販売
ふれあいショップ あゆみ・	<あゆみ> H1.10.1	10人	手作りパン ラスク各種
ふじひろみ	<ひろみ> S53.6.1	12人	ぼかし 縫製品
市民ふれあいバンク	S58.8.1	18人	手作り石けん リサイクル品回収 販売
鷹身工芸社	S59.8.1	19人	トールペイント 花の苗作り ぼかし、縫製品
ふじばら作業所	H1.4.1	20人	ふじ山キャンドル ぼかし 陶芸品

多機能型事業所（指定就労継続支援（B型）事業所及び指定生活介護事業所又は指定就労移行支援事業所）

事業所名	開設年月日	利用者数	主な自主製品等
吉原つくし	<継続> S55. 4. 7 <生活介護> H23. 5. 10	計 27人 <継続> 17人 <生活介護> 10人	手染め製品 手織りマフラー 名刺印刷 しおり
まつぼっくり	H13. 4. 1	計 14人 <移行> 1人 <継続> 13人	手作り洋菓子 （クッキー等） BDF精製・販売

・障害者就労支援施設・生活介護事業所職員全体研修

5月20日（金）	52人
7月15日（金）	54人
9月 9日（金）	50人
10月27日（木）	54人
12月22日（木）	53人
2月23日（木）	51人

【特定相談支援事業】

障害者就労支援施設等の利用者や、その家族が障害福祉サービスを適切に利用するためのサービス等利用計画作成を始めとした相談支援事業を実施した。

・サービス等利用計画契約者人数	209人
内訳 社協障害者就労支援施設・生活介護事業所利用者	152人
その他（社協居宅介護利用者・特別支援学校生徒等）	57人

【共同募金運動】

1. 赤い羽根共同募金運動

この運動は、毎年多くのボランティアの方々に支えられ、平成28年度は次のとおり募金をいただいた。これらの募金は、民間社会福祉事業の充実向上、健康で安心して暮らせる福祉のまちづくりのための事業に活用されている。

・実施期間 10月1日 ～ 12月31日

・協力団体 町内会（区長会）、民生委員児童委員協議会、他諸団体

区 分	目 標 額	実 績 額
町 内 募 金	14,700,000円	14,547,436円
篤志・法人募金	7,330,000円	6,522,348円
街 頭 募 金	1,700,000円	1,415,516円
合 計	23,730,000円	22,485,300円

2. 歳末たすけあい運動

この運動は、赤い羽根共同募金運動の一環として行われるもので、「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、低所得世帯等が安心して新年を迎えることができるよう配分を行った。

(1) 配分結果

・低所得世帯（生活保護世帯は除く）

480世帯	1,262人	7,779,000円	
ねたきり	21人	認知症	5人
重度心身障がい児(者)	56人	両親のいない児童	9人

・福祉施設利用者

16カ所	70人	595,000円
------	-----	----------

合 計 8,374,000円

(2) 募金結果

・ 会社職域関係	681,024円
・ 団 体 関 係	545,161円
・ 学 校 関 係	155,219円
・ 個 人	140,044円
・ たすけあい袋	8,178,483円
合 計	9,699,931円



赤い羽根共同募金運動(街頭募金)



歳末たすけあい運動

【実習受入れ】

社会福祉向上と福祉教育の一環として、学生等を対象に福祉実習の受入を実施した。

- ・実習受入数 54人

(内訳) 介護職員初任者実習	4人
保育実習	1人
看護師実習	48人
介護支援員専門員実務研修実習	1人

【視察受入れ】

当会の実施している諸事業について、概要説明や施設見学を行った。

- ・視察等受入 3件

7月 6日 (水)	磐田市民生委員児童委員協議会 「地域福祉活動」視察
9月 29日 (木)	焼津市民生委員児童委員協議会 「障害者就労支援施設ひめな」視察
11月 21日 (月)	沼津市社会福祉協議会 「結婚相談・福祉相談」視察
- ・市公共施設見学受入 2件

【社協災害対策本部開設訓練】

非常時に社協職員として防災マニュアルに沿った対応がいち早くできるよう、「災害ボランティア支援本部開設訓練」と平行して訓練を行った。また、関係機関と共に連携し、一日も早い市民生活の復旧と、そのために必要な支援とサービスが提供できる社協の体制づくりを模索した。

- ・実施日 1月28日（土）、29日（日）
- ・参加の範囲 社協事務局、介護・障害サービス事業所、福祉センター職員
- ・内 容 職員安否確認(安否確認メールシステムによる確認)、
出先機関の被害状況確認と職員配置シミュレーション、
富士市との情報交換(MCA無線)、社協ブログへ情報発信、交信

【富士市介護保険事業者連絡協議会の支援】

介護保険事業者が相互の連携と、サービスの総合的な質の向上を行うことを目的に各種研修会を実施し、その事務局役割を担っている。

【団体事務支援】

団体の活動がスムーズに運営できるよう側面的に支援を行った。

- (1) 富士市身体障害者福祉会
- (2) 富士市単親家庭の会
- (3) 富士市在宅介護者家族の会
- (4) 富士市民生委員児童委員互助会

【自動販売機設置】

施設利用者等の便を図るため、収益事業として、フィランセ館内等に設置した自動販売機の運営を行った。なお、本事業は本年度をもって終了した。

- ・設置自動販売機 6台

【熊本地震被災地支援】

平成28年4月14日（木）、16日（土）、熊本県・大分県を中心とした最大震度7の地震が発生。

県内社協による支援を6月から熊本県阿蘇郡西原村へ行うこととなり、富士市社協は、7月12日（水）から17日（日）の間、職員1名を現地へ派遣、現地災害ボランティア本部の運営を支援した。